



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 レオン自動機株式会社
 コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 康憲
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	16,481	△18.5	986	△53.8	1,132	△48.8	1,200	△23.1
2020年3月期第3四半期	20,225	△10.8	2,136	△29.7	2,214	△30.4	1,561	△28.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,086百万円(△34.0%) 2020年3月期第3四半期 1,646百万円(△24.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	44.79	44.70
2020年3月期第3四半期	58.28	58.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	33,345	25,442	76.1	946.69
2020年3月期	31,627	24,817	78.3	924.03

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 25,369百万円 2020年3月期 24,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	7.00	22.00
2021年3月期	—	7.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,090	△17.9	1,060	△63.3	1,120	△61.8	1,400	△29.0	52.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	28,392,000株	2020年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,593,586株	2020年3月期	1,593,318株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	26,798,533株	2020年3月期3Q	26,790,481株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う企業収益の低下や消費回復の鈍化により、景気が急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動に一部持ち直しの動きが見られましたが、第3波の感染症拡大に歯止めがかかっておらず、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

海外経済におきましては、中国では景気が回復傾向にあります。欧米では各国が大規模な景気浮揚策を打ち出すも、感染拡大の収束が見通せず厳しい状況が続きました。

当社グループが主要市場とする食品業界は、国内において、巣ごもり消費の増加を受けて、内食需要は拡大しました。一方、飲食店等での外食需要が大幅に減少しており、厳しい状況が続きました。また、外国人観光客の減少や国内移動制限の影響を受けて、観光土産物の需要も減少しました。

当社グループは、レオロジー（流動学）を基礎とする独自の開発技術をベースに、お客様が消費者の新しい生活様式に対応した事業を行うための課題解決提案を強化してまいりました。感染防止のため、営業上の制約は続いておりますが、お客様や従業員の安全面を最優先に確保したうえで必要な営業活動を継続いたしました。

その課題解決型営業の拠点として、2020年11月、本社敷地内にソリューションセンターを稼働し、実機を利用したお客様への提案活動を開始いたしました。また、社内各部門の業務を統合管理する新基幹システムへの移行を2020年10月に実施し、社内業務の高度化・効率化に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響は想定以上に大きく、長期間にわたって継続しております。当社グループは、全社を挙げて経費節減の取り組みを強化し、収益確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,481百万円（前年同四半期比18.5%減）、営業利益は986百万円（前年同四半期比53.8%減）、経常利益は1,132百万円（前年同四半期比48.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,200百万円（前年同四半期比23.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、製パンライン等の売上は増加しましたが、食品成形機、修理その他、仕入商品の売上は減少しました。

主な要因は、大型の製パンライン等の販売はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売機会が減少したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は6,675百万円（前年同四半期比16.7%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は1,317百万円（前年同四半期比31.7%減）となりました。

食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比26.1%減少となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大型ラインの売上がなかったことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが108円67銭から106円12銭と2.3%の円高の影響もあり、外部顧客に対する売上高は1,149百万円（前年同四半期比27.8%減）となりました。

広告宣伝費や販売手数料などの販売費及び一般管理費が減少したことにより、セグメント利益（営業利益）は37百万円（前年同四半期比102.3%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、製パンライン等の売上は前年並みとなりましたが、食品成形機、修理その他の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比4.6%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが121円05銭から122円37銭と1.1%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は2,388百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は展示会費用などの販売費及び一般管理費が減少したことにより、247百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他、仕入商品の売上が減少しました。

主な要因は、大型のペストリーラインの販売はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売機会が減少したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,702百万円（前年同四半期比40.4%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は624百万円（前年同四半期比36.1%減）となりました。

食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比12.6%減少となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、レストランや大手食品卸業社向けの売上が大幅に減少したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが108円67銭から106円12銭と2.3%の円高の影響もあり、外部顧客に対する売上高は4,205百万円（前年同四半期比14.6%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は売上原価の上昇により、95百万円（前年同四半期比72.2%減）となりました。

食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は361百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

主な要因は、大手ユーザー向けのパン種の販売が減少したことがあげられます。

セグメント利益は展示会費用などの販売費が減少したことにより、61百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,242百万円増加し、16,406百万円となりました。当社が手許資金の確保に努めたため、現金及び預金が2,216百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて524百万円減少し、16,938百万円となりました。当社の東京営業所の売却等により有形固定資産が479百万円減少したことが主な要因です。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,717百万円増加し、33,345百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて31百万円増加し、5,375百万円となりました。当社の新社屋建設等に伴い未払金が541百万円増加しました。また、支払手形及び買掛金が217百万円減少、前受金が318百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,062百万円増加し、2,527百万円となりました。長期借入金が838百万円増加、長期繰延税金負債が235百万円増加したことが主な要因です。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,093百万円増加し、7,903百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて624百万円増加し、25,442百万円となりました。土地再評価差額金の取崩が3,938百万円、利益剰余金が3,216百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。2020年11月10日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,820,663	7,037,661
受取手形及び売掛金	3,020,838	2,660,104
商品及び製品	3,826,296	4,016,593
仕掛品	1,068,137	1,138,090
原材料及び貯蔵品	770,541	279,438
その他	673,305	1,291,165
貸倒引当金	△15,891	△16,524
流動資産合計	14,163,890	16,406,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,717,776	15,272,129
減価償却累計額	△8,496,348	△8,062,054
建物及び構築物(純額)	5,221,428	7,210,074
機械装置及び運搬具	7,834,528	7,617,539
減価償却累計額	△6,005,935	△6,049,341
機械装置及び運搬具(純額)	1,828,592	1,568,197
工具、器具及び備品	2,022,041	1,921,210
減価償却累計額	△1,811,016	△1,702,861
工具、器具及び備品(純額)	211,024	218,348
土地	4,716,144	4,280,332
リース資産	45,286	45,286
減価償却累計額	△35,620	△40,709
リース資産(純額)	9,665	4,577
建設仮勘定	1,803,489	29,673
有形固定資産合計	13,790,345	13,311,205
無形固定資産	1,502,575	1,551,818
投資その他の資産		
投資有価証券	742,444	765,716
退職給付に係る資産	1,126,476	1,122,757
その他	312,665	191,677
貸倒引当金	△10,880	△4,391
投資その他の資産合計	2,170,707	2,075,760
固定資産合計	17,463,627	16,938,784
資産合計	31,627,518	33,345,312

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	839,030	621,291
短期借入金	738,975	1,125,493
リース債務	6,690	3,549
未払費用	426,324	517,991
未払法人税等	267,682	115,007
前受金	1,323,486	1,005,194
賞与引当金	630,837	239,447
役員賞与引当金	21,700	22,500
未払金	1,014,769	1,556,052
その他	74,609	168,955
流動負債合計	5,344,106	5,375,484
固定負債		
長期借入金	639,344	1,478,080
リース債務	3,770	1,526
繰延税金負債	282,806	518,266
再評価に係る繰延税金負債	398,310	398,310
訴訟損失引当金	19,010	11,364
資産除去債務	71,399	71,419
その他	50,771	48,859
固定負債合計	1,465,413	2,527,827
負債合計	6,809,519	7,903,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,069,407	7,069,407
利益剰余金	17,272,996	14,056,318
自己株式	△773,557	△773,871
株主資本合計	30,920,595	27,703,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,757	200,510
土地再評価差額金	△5,531,033	△1,592,819
為替換算調整勘定	△748,105	△894,220
退職給付に係る調整累計額	△47,553	△47,342
その他の包括利益累計額合計	△6,157,934	△2,333,871
新株予約権	55,337	72,268
純資産合計	24,817,998	25,442,000
負債純資産合計	31,627,518	33,345,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	20,225,577	16,481,869
売上原価	10,998,257	9,217,331
売上総利益	9,227,319	7,264,537
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	245,616	52,001
荷造運搬費	694,110	559,374
貸倒引当金繰入額	5,094	7,106
販売手数料	460,372	331,085
給料及び手当	2,490,968	2,333,329
賞与引当金繰入額	191,064	129,690
役員賞与引当金繰入額	23,020	22,500
退職給付費用	130,401	133,279
旅費及び交通費	365,815	192,200
減価償却費	276,474	345,496
研究開発費	556,120	404,928
その他	1,652,075	1,767,003
販売費及び一般管理費合計	7,091,134	6,277,996
営業利益	2,136,184	986,541
営業外収益		
受取利息	3,645	2,611
受取配当金	19,838	20,200
物品売却益	8,163	6,901
為替差益	1,244	4,107
補助金収入	—	53,988
保険解約返戻金	2,479	—
電力販売収益	19,244	19,118
その他	49,594	64,160
営業外収益合計	104,210	171,088
営業外費用		
支払利息	13,423	12,041
電力販売費用	9,367	8,366
その他	2,986	4,321
営業外費用合計	25,777	24,729
経常利益	2,214,617	1,132,900
特別利益		
訴訟損失引当金戻入額	21,815	7,646
固定資産売却益	—	684,706
特別利益合計	21,815	692,352
特別損失		
投資有価証券評価損	—	28,231
本社移転費用	—	101,523
特別損失合計	—	129,755
税金等調整前四半期純利益	2,236,432	1,695,498
法人税、住民税及び事業税	517,008	159,787
法人税等調整額	158,014	335,305
法人税等合計	675,023	495,092
四半期純利益	1,561,409	1,200,405
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,561,409	1,200,405

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,561,409	1,200,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173,590	31,752
為替換算調整勘定	△98,381	△146,115
退職給付に係る調整額	9,618	211
その他の包括利益合計	84,826	△114,151
四半期包括利益	1,646,235	1,086,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,646,235	1,086,254

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)および「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)が2018年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったこととともない、当第3四半期連結累計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転したと判断した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当社グループは、機械性能確認後、機械出荷時に収益を認識する出荷基準から、顧客指定工場に、機械搬入据付終了後に収益を認識する搬入据付基準へと変更いたしました。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第3四半期連結累計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第3四半期連結累計期間の期首の剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第3四半期連結累計期間の期首より前までに従前の取り扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が173,767千円増加し、売上原価が81,837千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ91,930千円増加しております。

また、利益剰余金の当期首残高は、93,539千円減少しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症による影響が継続しており、不確実性が高い事象であるため、今後の経済に与える影響の予測が難しい状況にあります。

当社グループでは、これまで2020年度末に向けて業績が徐々に回復していくとの仮定を設定し、会計上の見積りを行っておりましたが、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表作成時において、入手可能な外部情報等に基づき、影響は来期以降においても一定程度残るものと仮定を変更しております。

なお、現時点において当連結会計期間末の見積りに大きな影響を与えるものではないと判断しておりますが、感染症拡大の状況や経済への影響が当該仮定と乖離する場合には、実際の結果は見積りと異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,016,189	1,592,051	2,475,664	2,855,260	14,939,165
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,968,089	70,711	145	—	3,038,946
計	10,984,278	1,662,762	2,475,809	2,855,260	17,978,111
セグメント利益	1,928,560	18,305	231,972	976,919	3,155,757

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	4,924,678	361,733	5,286,412	20,225,577
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	47	47	3,038,993
計	4,924,678	361,780	5,286,459	23,264,571
セグメント利益	342,459	61,268	403,728	3,559,486

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、フランス、ロシア、イギリス
- (3) アジア……………中国、台湾、韓国、オーストラリア、タイ、香港

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,559,486
セグメント間取引消去	△82,708
本社一般管理費(注)	△1,340,592
四半期連結損益計算書の営業利益	2,136,184

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,675,173	1,149,200	2,388,560	1,702,374	11,915,308
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,851,680	65,758	—	—	1,917,438
計	8,526,853	1,214,959	2,388,560	1,702,374	13,832,747
セグメント利益	1,317,380	37,039	247,416	624,703	2,226,538

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	4,205,468	361,091	4,566,560	16,481,869
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	70	70	1,917,509
計	4,205,468	361,162	4,566,631	18,399,379
セグメント利益	95,162	61,735	156,898	2,383,436

（注）各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ
- (3) アジア……………中国、タイ、インドネシア

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	2,383,436
セグメント間取引消去	74,437
本社一般管理費（注）	△1,471,332
四半期連結損益計算書の営業利益	986,541

（注）本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントの変更に関する事項

会計方針の変更に記載の通り、当第3四半期連結累計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益または損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により従来の方針に比べて、当第3四半期連結累計期間の食品加工機械製造販売事業における「日本」の売上高が183,382千円増加、セグメント利益が96,217千円増加し、同事業における「北米・南米」の売上高が9,614千円減少、セグメント利益が4,287千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。